



難民推薦入試で入学 ミヨウさんの決意



難民についての現状を学生に講演しているミヨウさん
©関西学院大学

私は現在、2007年から始まったUNHCR駐日事務所と関西学院大学との難民推薦入学制度の一期生として、関西学院大学の総合政策学部で学んでいます。大学の勉強から16年間離れていたの、最初は戸惑いを感じていましたが、今は大学生活にも慣れてきました。友達もたくさんでき、国際問題について議論を深める機会も多く、毎日が充実しています。

私は貧困問題や平和政策など国際社会が抱えるさまざまな問題に関心があります。大学で勉強したことを将来自分の母国に役立てたいと思っています。そして日本とビルマの架け橋になれるよう頑張りたいと思っています。



小・中・高校生のための学習訪問 ボランティア講師の活動

日本UNHCR協会の学習訪問

「難民が、こんなにもたいへんな生活をしていると思わなかった。どれだけ調べても全てを知ることは難しいと思うが、自分たちに出来ることを出来る限りやろうと思う」6月に協会を訪問した三重県津市立白山中学校から寄せられた感想だ。難民問題を通して人道支援や平和について考えたいという教育機関からのご要望にお応えして、日本UNHCR協会では小・中・高校生の訪問を受け入れている。今年度は8月までに24校が来訪した。レクチャー

を担当するボランティア講師は「生徒さん達は、素直に話を吸収し、何気なく話したことも真剣に受け止め、難民問題の重要性を感じてくれる」と、入念な準備をして臨んでいる。

募金活動

学習訪問後も「自分たちにできることはなにか?」を考え、支援活動をしている学校もある。白山中学校では9月の学校祭で、難民問題について学んだ事の発表、難民写真パネルの展示と合わせ、募金を集めた。「当初、『難民?』『UNHCR?』と感じていた生



難民写真展を見学する白山中学の生徒さん
©三重県津市立白山中学校

徒たちが、事前学習や訪問を通じて、積極的に学ぶ姿が変わっていくのが感じられた」という先生の報告と、「『難民の方々を助けた』という思いよりも『自分たちがボランティアの一員になった』という満足感が残った」という生徒さんの嬉しいコメントと共に、ご寄附をいただいた。

関連情報:

<http://www.japanforunhcr.org/school/index.html>

あとがきにかえて

アインシュタインの パスポート



この証明書を得るまで
5年間無国籍者だったアインシュタイン
MUSEE HISTORIQUE DE BERNE

アルバート・アインシュタイン (1879-1955)
物理学者、ドイツ生まれ

1896年に国籍を放棄し、その後5年間無国籍者となる。1901年スイス市民となり、1914年には再びドイツ市民権を得て1921年ノーベル物理学賞を受賞。1933年にヒトラーが首相となると難民となり、英雄的な歓迎を受けたアメリカ合衆国へ逃れ、1940年アメリカ市民となった。

あなたにもできる
普段着の難民支援を
私たちと一緒に
探しに行きませんか?